大手前丸亀中学・高等学校

OTEMAE MARUGAME JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

高校3年制コース



GUIDE BOOK 2027

高校3年制コース

高校からの3年間に、本校が長年築いてきた教育資源を惜しみなくつぎ込みます。
多様な入試に挑戦できる環境で、「新しい流れ」を作り出すあなたを手厚く支えます。



合格までの

3Years

Year 1

高校1年生

高校生活の土台となる学力と習慣をしっかりと身につける1年です。授業と教員の手厚い個別指導で、基礎学力を徹底的に鍛えます。また、部活動と勉強を両立させるため、限られた時間の中で集中して学ぶスタイルを早期に確立することを目指します。

Year 2

高校2年生

文系・理系の選択を経て、より専門的な学びへと進みます。また、探究学習やボランティア活動を通じて、自ら課題を見つけて解決する力を養い、将来の進路選択についても考えを深めます。部活動でも中核を担い、「人間力」を大きく伸ばす時期です。

Year 3

高校3年生

これまでに培った学力と、部活動や学校行事で鍛え上げた粘り強さを武器に、大学入試という目標に向かって本格的に取り組みます。一人ひとりの志望校に合わせたきめ細かい個別指導で、現役合格というゴールまでしっかりと伴走します。

在校生の声

私が3年制コースを選んだ理由



高校1年生
鈴木　雄大 さん

なぜ、大手前丸亀に入学したいと思いましたか?

充実した学習環境に加え、ボランティアや探究活動など、自分の興味がある分野をとことん突き詰められる環境が整っている点に強く惹かれました。

3年制コースに実際に入学してみて、どのように感じていますか?

6年制のみんなの温かい歓迎で緊張がほぐれ、すぐに馴染めました。
授業でも発表や質問がしやすく、アットホームな雰囲気がとても気に入っています。

これからの学校生活で、楽しみなことを教えて!

好きな教科である英語の授業が楽しみです。高校で何を学ぶのかワクワクしています。また、遠足などの学校行事もこれからの大きな楽しみです。

3年制を選んで1年後、どんな自分になっていたいですか?

ここでしかできない学びや経験をたくさん積みたいです。
1年後、「この学校で学べてよかった!」と心から思える自分になっていたいと思います。

私が3年制コースを選んだ理由



高校1年生
谷本　遥菜 さん

なぜ、大手前丸亀に入学したいと思いましたか?

私は小学生の頃から陸上競技を続け、技術はもちろん精神面や人間性を磨いてきました。大手前丸亀なら、全国大会入賞の夢と大学進学に向けての勉強を両立できると思ったからです。

3年制コースに実際に入学してみて、どのように感じていますか?

授業の時だけでなく、休み時間も理解できるまで教えていただき、とてもやる気になりました。毎日質の高い練習もできています。

「本気の部活」と「毎日の勉強」をどうやって両立していこうと考えていますか?

部活の中で勉強する時間を取ってもらえたり、先生に質問しに行くことができたりと、両立を支える環境が整っているので、限られた時間でも頑張っていこうと思っています。

3年制コースを選んで1年後、どんな自分になっていたいですか?

目標に向かって真っ直ぐ進み、常に学びを大切にしながら、競技だけでなく一人の人間として尊敬されるアスリートを目指したいです。

「問い」を「価値」へ。
中高一貫で深める探究活動『LINKS』始動

本校には、日々の授業で培われる豊かな「知の土壌」と、有志団体「TSUNAGU」のように生徒が主体的に行動する文化が根付いています。私たちはこの環境をさらに進化させ、確かな学力で世の中へ価値を提供する探究プログラム『LINKS』を本格的に始動します。
中高一貫校である本校では、中学生と高校生が学年の枠を越えて協働し、多様な価値観で互いに刺激を与え合いながら、長い期間をかけて一つのテーマをとことん究めることができます。
自分の「好き」や「夢中」を入り口にして世の中に貢献する道を描いたり、社会のリアルな課題に全力で挑んだりする。そのワクワクする経験は、大学進学の先にある「未来を生き抜く力」や、生涯を懸けたい「主体的な進路」の発見に直結します。正解のない社会で、学びを「価値」に変えていく。そんなワクワクする挑戦を、大手前丸亀で一緒に始めませんか。



総合探究科 主任
森　大明 先生

2026年度入試 合格実績

（卒業生数80名）※《　》は既卒生の内数

くわしくは本校HPをご覧ください

国公立大学	36名《9名》合格
医学部医学科	18名《11名》合格 ※国公立大・私立大合わせて
過去5年間　医学部医学科	57名《27名》合格 ※国公立大・私立大合わせて

卒業生の声



自分の限界に挑戦した受験

宮本　望未さん　　広島大学 法学部法学科 一般選抜合格

私にとって大学受験は周りの受験生との戦いというよりも自分との戦いでした。大学受験では目標としている大学に合格するために、自分の実力を限界まで高めていく事が必要です。しかし、受験期の最初の方は今までの勉強に加えて、隙間時間などで勉強する習慣が身につかず、サボってしまうことがありました。しかし、一生懸命頑張る同級生の姿を励みにして、自分も彼らに負けないように頑張ることができました。また、模試で思った通りの結果が出ず、苦しいときもありましたが、わからないところを先生に質問したり、友人に苦手科目の克服方法を聞いたりすることで乗り越えました。先生からの「得意科目は一つでも作ったほうがいい」というアドバイスを受けて、苦手科目の克服だけでなく、得意科目を伸ばして自分の学力に自信をつけることも意識しました。共に切磋琢磨した友人や、合格まで指導をしていただいた先生方には心から感謝しています。6年間、本当にありがとうございました。



合格（うか）るには

松永　爽汰さん　　京都大学 薬学部 一般選抜合格

私が志望校を決めたのは中学3年生が終わる頃でした。それ以来、一度も志望校を変えませんでした。高校1年生の秋から本格的に受験勉強を開始し、担任の先生に旧帝大数学の添削課題を毎日出すようになりました。また、学年が上がるにつれ、国語、英語の読解、英作文、物理など先生に個別で難関レベルの問題の添削をお願いしていました。今思えば、早いうちから志望校を決め準備に取りかかれたことが受験生になってからの効率的な学習に繋がったと感じています。高校3年生になってから私はその日に学んだことを夜にアウトプットする習慣を身につけました。量をこなすことも大切ですが、出来なかった問題を次に出来るようにすることが最も大切です。自分の学びを整理する機会を設けるだけで定着度合いは全く異なります。アウトプットでドキュメントに打ち込まれた文字数は受験期だけで12万字を超えました。ノートに書き込むなど形式は人それぞれなので、ぜひ今日から皆さんも実践してみてください。皆さんが志望校に合格できることを心から願っています。



先生方と仲間に支えられた6年間

森下　愛さん　　名古屋大学 医学部医学科 学校推薦型選抜合格

私は日本生物学オリンピックで銅賞を受賞し、名古屋大学医学部医学科に学校推薦型選抜で合格することができました。これも日々温かくご指導くださった先生方や、よきライバルとして切磋琢磨した友人たちの支えによるものと感謝しております。私は、大手前丸亀のカリキュラムにより、高校2年生までに全範囲を一通り終えることができました。余裕の時間を使い、生物学オリンピックに挑戦したり、IELTSや英検などの取得にもつなげることができました。生オリの本選前には、先生に理科室で実験の練習に付き合っていただいたことなどが思い出されます。これらの実績をもって、名古屋大学の推薦入試に挑みました。入試直前には、何度も面接やプレゼンテーションのご指導もいただきました。教育の質が高く、互いに高めあえる仲間と出会うことのできる大手前丸亀は、私にとって最高の環境でした。本当にありがとうございました。

主要国公立大学・私立大学・大学校　合格者

国公立大学

京都大学	1名
大阪大学	2名《1名》　うち 医学部医学科1名《1名》
北海道大学	1名
名古屋大学	1名　うち医学部医学科1名
神戸大学	2名　うち医学部医学科1名
岡山大学	4名
広島大学	3名
香川大学	7名《2名》　うち医学部医学科3名《2名》
徳島大学	4名　うち医学部医学科1名

私立大学・大学校

早稲田大学	5名
慶應義塾大学	2名
東京理科大学	3名
自治医科大学	1名
産業医科大学	1名《1名》
私立大学医学部	9名《6名》
GMARCH	5名
関関同立	27名《2名》
防衛大学校	1名



自分に合った「環境」の大切さ

矢野　雄也さん　　神戸大学 システム情報学部 システム情報学科 一般選抜合格

私は2年生の時、文系科目の成績が絶望的に悪く、とても大学入試で通用するものではありませんでした。しかし、高校3年生の春、卒業した先輩方にアドバイスをもらい、自分にあった環境を整えることで、5年間自分ではどうにもならなかった成績が大幅に改善されました。私はここで、自分にあった環境を得ることの大切さを学びました。この学校では、先生方が生徒の受験についてとても親身に考えてアドバイスをくださったり、高校3年生には、より勉強に集中できる教室が与えられたりと、様々な場面で助けてもらいました。大手前丸亀高校では、このような受験で有利になれる環境がたくさんあり、生徒の力になってくれました。私が大学入試を最後まで頑張れたのは、大手前丸亀のシステムや、先生方や、友達の助けがあったからこそです。この学校で、このような素晴らしい環境を得られたことにとても感謝しています。6年間、本当にありがとうございました。



受験から得た宝物

池田　彩音さん　　早稲田大学 法学部 一般選抜合格

受験を振り返り、1番に感じたのは先生方及び友人への感謝です。私は、高校2年生の頃に、当時の成績から判断すると、相当の努力を積まなければ合格不可能な程の難関校を志望しました。しかし、先生方は私の決定を尊重し、同校に向けた個別指導を早期に開始してくださりました。また、精神面でも手厚いサポートをしていただきました。そのおかげで、最後まで目標を変えずに受験を走り抜くことができました。さらに、心の支えかつ、自分を奮い立たせる糧となったのは、大手前丸亀の友人です。受験勉強が思うようにいかない時も、友人は自分の頑張りを認め、他愛ない話で私の心を癒してくれました。また、周りの努力を見ることは、自分自身のやる気に繋がりました。受験を通して得たのは、結果だけでなく、自分を信じてくれる人がいるという心強さでした。ここで培った絆と、最後まで諦めなかった誇りを胸に、一歩ずつ新しい道へ踏み出していきます。本当にありがとうございました。



大手前丸亀での6年間

中隅　悠さん　　徳島大学 医学部医学科 一般選抜合格

私が大手前丸亀での6年間を振り返ってみて感じるのは、いかに自分が恵まれた環境に身を置いていたかということです。勉強や部活動はもちろんですが、周りの同級生や先輩の中には、ボランティア活動に参加して全国大会に出場していたり学術系のコンテストに出ていたりと優秀でかつアグレッシブな方が多かったですし、先生方も頼りになり、私たちの意見を聞き入れて良い方向に進めるようなアドバイスを必ずして下さいました。学校行事などのイベントに関しても、生徒主体で行うものなど最近どんどん盛り上がりを増していて、これから先ますます活気ある学校になるのだろうなと感じます。現役の大手前生やこれから大手前に入学する人たちは、このよい環境で自分のやりたいことを見つけてやり通して下さい。最後になりましたが、6年間お世話になった家族、同級生や先生方、本当にありがとうございました。

今年度新しく「強化指定」された、陸上競技部とサッカー部。

強化指定部活動（陸上競技／サッカー）

陸上競技部に今年度入部した清水さんにインタビュー!



大手前丸亀の「強化指定1期生」になることを選んだ、一番の決め手は?

信頼できる先生方のもとで競技に取り組める環境があり、先輩後輩関係なくお互いに高めあえる雰囲気に魅力を感じ、この学校の陸上競技部への入部を決めました。

これから3年間、この学校とグラウンドでどんな自分になりたいですか?

自分の限界に挑戦し続け、全国大会で入賞できる選手になることが目標です。競技力だけでなく人としても成長し、仲間から信頼され、チームを引っ張る存在になりたいです。

サッカー部に今年度入部した伏見さんにインタビュー!



大手前丸亀の「強化指定1期生」になることを選んだ、一番の決め手は?

入学前に練習に参加させてもらった時に、チームの和やかな雰囲気や、松村先生のわかりやすくて熱い指導に感化されたことです。

これから3年間、この学校とグラウンドでどんな自分になりたいですか?

高校から入る僕を温かく迎えてくれて嬉しかったので、チームに感謝の気持ちをもってプレーし、キーパーとして一点も入れさせない信念をもって勝利に貢献できるようになりたいです。

陸上競技部顧問の安宅裕美先生にインタビュー!



どんな陸上競技部を目指していますか?

私が目指すのは、単に上を目指すだけでなく、伝統ある本校の文武両道を土台とし、各々の目標に向かって自分で考えて成長できる、主体性と協調性を兼ね備えた陸上競技部です。

先生が考える「大手前丸亀アスリート」の姿とは?

一分一秒を大切に努力し、仲間を思い、周囲から応援される人間へ成長できる集団です。そうした成長を日々積み重ね、全国出場や大学合格という目標を実現できる人になってほしいです。

サッカー部顧問の松村渉先生にインタビュー!



どんなサッカーを目指していますか?

「ゴールとボールを“奪いに行く”アグレッシブなサッカー」と、「仲間とゴールを“守る”献身性」を大事にしています。

先生が考える「大手前丸亀アスリート」の姿とは?

「プロフェッショナルな習慣」を送る人です。プレーだけではなく習慣を真似なければ一流には近づけません。サッカー部ではピッチ外での成長も大切にし、選手の夢を全力でサポートします。

運動部

- 陸上競技
- サッカー
- 剣道
- 硬式テニス
- 総合
- 卓球
- ダンス
- 軟式野球
- バスケットボール
- バドミントン

文化部

- 英語
- 演劇
- 家庭科
- 合唱
- 茶道
- 太鼓
- 美術
- 理科

大手前丸亀のボランティア活動

本校には、生徒中心で活動する3つの主要ボランティア団体があります。
環境・医療・教育という異なるアプローチから、丸亀のまちを、私たちのエネルギーで元気にします!













TSUNAGU

環境×連携

『思いをカタチに』を合言葉に、幅広く環境問題に取り組んでいます。「まるがめ地域活性化高校生プランコンテスト」で最優秀賞を受賞。「丸亀国際ハーフマラソン」にて地域の食材を使うマルシェ出店の夢を叶えました。

チーム・グッドブラザー

医療×支援

NPO法人「未来ISSEY」を通じ、長期入院中の子ども達やそのご家族をサポートしています。毎月、支援物資の詰まった“エールバッグ”や学習プリントを作成。「高校生ボランティア・アワード2025」の全国大会に出場しました。

子どもの無料塾

教育×継続

NPO法人「オアシス丸亀」で、メンバーが自らシフトを組み、毎週子どもたちに寄り添う学習支援を行っています。「まるがめ学生ボランティア・アワード2026」においては左記の2つの活動と合わせて、大賞を受賞しました。

これら3つの軸に加えて、個人で外部ボランティアに挑戦する生徒も多数在籍しています!

日々の活動に関して、
生徒自身が積極的にHPで発信していますのでぜひご覧ください!

TSUNAGU実行委員長の小倉さんにインタビュー!



高校2年生
小倉　陽香里 さん

TSUNAGUに関わろうと思った「きっかけ」は何でしたか?

友人にごみ拾い活動「えころとんぐ。」へ誘われたのがきっかけです。もともとボランティアや新しいことへの挑戦が大好きだった私にとって、TSUNAGUは最適な団体だと感じました。

TSUNAGUでの経験を通して、普段の生活や「学ぶこと」に対する意識はどう変わりましたか?

以前は無関心だった環境問題や地域課題を、活動を通して「自分ごと」として意識するようになりました。多様な世代から新たな発想を得て「学ぶことは自分の可能性を広げること」だと実感しています。

活動の中で、一番印象に残っているエピソードやハッとした「気づき」を教えてください。

ご高齢の方や子供たちと関わる活動に参加した際、ご高齢の方からは地域の歴史や経験を、子供たちからは自由な発想を学びました。異世代との関わりが自分の視野を大きく広げてくれると気付きました。

新しく入学してくる後輩たちへ一言お願いします!

興味を持ったことには積極的に行動してください。多様な経験が新しい視点と出会わせてくれ、自身の成長に繋がるはずです。たくさんの経験を重ね、自分らしく充実した学校生活を送ってください!

入学までの流れ

詳しくはホームページをご覧ください。

■ 出張学校説明会

開催日：2026年5月9日（土）高松会場
5月16日（土）愛媛会場
5月23日（土）宇多津会場
5月30日（土）三豊会場
6月6日（土）善通寺会場

■ オープンスクール

開催日：2026年8月22日（土）

■ 文化祭

開催日：2026年9月12日（土）

■ 入学試験

2027年1月

学校見学や個別相談など、入学に関するご相談は随時受け付けております。
ご希望の方は、本校までお問い合わせください。

大手前丸亀中学・高等学校
LINE公式アカウント
入試情報や最新情報をお手元にお届けします!
※右のQRコードから友だち追加できます

大手前丸亀中学・高等学校
〒763-0034 香川県丸亀市大手町一丁目6番1号
TEL. 0877-23-3161 FAX. 0877-23-7167

大手前丸亀　検索